

小橋 真司 岡部 大輔  
森本 明浩 西村 健吾  
山岡 正和 八井田 豊  
倉迫 敏明

#### 産婦人科

登村 友里 白河 伸介  
牛尾 友紀 番匠 里紗  
平田 智子 西条 昌之  
中山 朋子 中務日出輝  
小高 晃嗣 水谷 靖司

#### 4東病棟・MFICU

山田 由貴 渕野 美緒  
井澤 依里 宮原奈々子  
菊本 牧子

分娩時の痛みは、多くの女性にとって生涯で経験する最も強い痛みとされている。欧米での無痛分娩実施率は高く、近年は本邦においても分娩時の和痛を希望する妊産婦が増加している。当院では麻酔科医主導のもと、2016年から硬膜外無痛分娩を実施しており、症例数は2017年2例、2018年8例、2019年15例（11月末時点）と増加傾向にある。硬膜外無痛分娩は高い鎮痛効果と母児への安全性から広く実施される方法であるが、その分娩管理は必ずしも容易ではない。これまで多職種での勉強会や症例毎の振り返りを行うことで、硬膜外麻酔の開始時期や薬剤投与方法、モニタリング方法を見直してきた。現在の問題点としては、硬膜外麻酔による子宮収縮抑制・娩出力低下に伴う分娩遷延や、吸引分娩率の上昇が挙げられる。夜間休日の対応にも制限がある。安全で質の高い無痛分娩を提供するため、多職種の連携が必要である。本研究会では、現在の状況と課題について報告する。

## 7. 外来化学療法センター増床に伴う薬剤師業務の変化

### 薬剤部

三葉智絵美 島田 健  
中村 祥敬 江本 文代  
大里 勇二 上野 聖子

中村進一郎

### <背景>

2018年11月より、外来化学療法センターが20床より31床に増床となった。増床に伴う薬剤師の業務量の変化を比較検討することとした。

### <方法>

外来化学療法室での化学療法施行件数（抗癌剤混注件数）、がん患者指導管理加算ハ算定件数、疑義照会件数を

・増床前1年間：2017年11月～2018年10月

・増床後1年間：2018年11月～2019年10月

の各1年間について集計した。

### <結果>

増床前 → 増床後 の件数は以下の通りであった

・化学療法施行件数：7964件／年→8985件／年

・がん患者指導管理加算ハ算定件数：656件／年→801件／年

・疑義照会件数：53件／年→104件／年

### <考察>

病床数の増加に伴い、薬剤師の業務も拡大していることが分かった。特に疑義照会件数の増加は顕著で、がん化学療法に薬剤師が積極的に関与し、薬剤の適正使用に職能を発揮していると考えられる。今後は医療の質への貢献についても評価していきたい。

## 8. 学生の社会人基礎力を高める取り組み

### —生活全般に活用できる行動指標の検討—

#### 姫路赤十字看護専門学校

神戸真由美 小野 真弓  
内海 尚美 山田 道代  
松井 里美 藤田美佐子  
中林 朝香 藤元由起子  
八幡 宏美 石谷 尚美  
木本菜見子 森下 裕子  
坂本佳代子 柳 めぐみ

2006年に経済産業省が打ち出した「社会人基礎力」は、「職場や地域社会で多様な人々と仕